

つながる手と手

～はなかわからの

メッセージ～



第8号



もくじ

- 新年のご挨拶
- 花川のはなちゃん&カワくんが聞く「おしえて！管理栄養士さん」
…管理栄養士・角田とはなちゃん&カワくんのお食事対談
- 「花ぴりか」がオープンしました
- クリスマスコンサート in 花川病院

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

本年はいつになく穏やかで暖かい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より当院ならびに医療法人喬成会の運営に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



昨年10月院長に赴任してから、早いもので3ヶ月が経ちました。まだ花川病院に慣れないうちに電子カルテ導入が始まり、12月にはサービス付き高齢者向け住宅「花びりか」がオープンし、それに伴い在宅事業部の移転、また、当院外来時間の延長・リハビリテーション外来の新設と、先の穏やかな天候とは打って変わり目まぐるしい日々を過ごしております。

しかしながら、これも患者さん並びに地域の皆さんへより充実した医療を提供し、また、医療と介護のより強固な連携を確かなものとするためであります。これからも、患者さん・ご家族のニーズを第一に考え、社会・医療情勢なども見据えながら更に信頼と安心を提供できる病院を目指し進んで参りたいと思いますので、何卒よろしくお願い致します。

花川病院 院長 憲 克彦

花川のハナちゃん&カワくんが聞く「おしえて！管理栄養士さん」

…管理栄養士・角田とハナちゃん&カワくんのお食事対談



ハナちゃん



カワくん

お花の飾りがキュートなハナちゃんと、川の流れるようなヘアスタイルが斬新なカワくん。好奇心旺盛な2人は色々なことを知りたくて時々登場します。

花川に住むハナちゃん&カワくんは、近所にある花川病院の各部署に入り込んでたくさんの「どうして？」を専門職に解決してもらいます。

さて、今回は花川病院の栄養科長・角田千恵子管理栄養士が、患者さんのお食事の色々について2人の「どうして？」にお答えします。



ハナちゃん「たくさんの患者さんの好き嫌いはどうやってわかるの？」



角田「患者さんの食事を作る栄養科では、年に数回、アンケートにご協力いただいているのよ。患者さんがどのような食事を望んでいるのか、量や味付けに満足していただいているかなど、患者さんの生の声を伺っているの。アンケートの結果は病棟に掲示して皆さんに報告しているのですよ。

主食はやっぱりお米が人気なので、白米だけではなく炊き込みご飯や、梅・しらすをつかった混ぜご飯など、バリエーションを豊富にしてお届けしているの。

患者さんお一人お一人の嗜好は入院時に何うけれど、より食事を美味しく楽しめるように日々のコミュニケーションから得た情報を参考に献立を考えることも大事なことですな。」



カワくん「どんなおかずが人気？」



角田「フキの煮物や肉じゃがのように日常で食べなれている和食が喜ばれているわね。味はもちろんのこと、見た目でも楽しめるように心がけているのよ。」



ハナちゃん「食事は和食だけなの？」



角田「1ヶ月に何度か洋食の日があるのよ。洋食はご馳走のイメージがあるようで、とても喜ばれているし、アンケートでラーメンやパンを希望する意見には、それぞれお届けする回数を増やして患者さんからの声にお応えしているの。毎日の食事を美味しく楽しく召し上がっていただくために、盛り付けの直前に出来上がるような工夫もしているのよ。規則正しい食事は健康な身体をつくる第一歩。ハナちゃんとカワくんもたくさん食べて寒い冬を乗り切ってくださいね。」



管理栄養士・角田



ハナちゃん カワくん「色々な工夫をしているんだね。好き嫌いしないようにがんばります！」

「花ぴりか」がオープンしました



新年明けましておめでとうございます。

昨年 12 月待望の施設「サービス付き高齢者向け住宅<花ぴりか>」(60 戸) がオープン致しました。「花ぴりか」の名前は、職員の公募により決められましたが、この地区の地名である花川の「花」と日本では北海道東部でしか見られない鳥「エトピリカ」を掛け合わせ、地域に愛される施設になるようにとの願いを込められています。

また、在宅関連の事業所も全て集約し、花川病院・オアシス 21 をはじめとした施設・在宅サービスの密な連携のもと幅広いサービスを提供致します。花ぴりかには専門のスタッフが常駐しており、日々の健康管理はもちろん、体調不良時の対応や急変時も迅速に対応致します。医療処置や管理が必要な方、退院後の在宅療養が難しいと思われる方など、お気軽にお問い合わせください。(0133-72-0021 担当：みやまえ)

クリスマスコンサート in 花川病院

季節を少しだけさかのぼって…12月25日、クリスマスコンサートを開催しました。

演奏して下さったのは札幌市で奈良岡音楽教室を営んでおられる奈良岡明憲さん・知僧乃さんご夫妻です。昨年のクリスマスコンサートでも素晴らしい演奏を聴かせていただきました。明憲さんのサクソと知僧乃さんのキーボードで奏でられる音楽を患者さんやご家族だけではなく、スタッフもワクワク胸を膨らませてお迎えしました。

当日はクリスマスならではの曲やなつかしの歌謡曲が盛りだくさん。深くてしっとりとしたサクソの音色と軽やかで心躍るキーボードの演奏で患者さんやご家族の心をわしづかみです。なつかしの歌謡曲が演奏されると、患者さんが一緒に歌ったり手拍子で参加したりとクリスマスのひと時をお楽しみいただけました。



普段はなかなか聴く機会がない楽器の生演奏。スタッフも楽しいひと時を過ごすことができました。

今後も入院中の患者さんやご家族の皆さんが「楽しいな」「ほっとできるな」と感じられる豊かな時間を過ごせますように色々な企画に挑戦したいと思います。(いしぐろ)

編集後記

暖冬と言いながら、やはり雪深い北海道ならではの季節となって参りました。

さて、第 8 号は新年第一号ということで昨年の取り組みや新施設 OPEN に伴い新しい体制についてご紹介させていただきました。今年も患者さんの笑顔を引き出し、ワクワクするような病院づくりを目指して日々取り組んで参ります。(かねこ)